

あなたが、気になる「質問」はありますか？

質問議員8名 質問13項目



皆さんの「へんしん」にかかわることを、議員が質問をしました。

子育て支援・教育	健康・福祉	道路・交通	産業・観光 まちの魅力	生活環境	安心・安全	農業	その他の町行政
----------	-------	-------	----------------	------	-------	----	---------

質問項目	議員
P5 放課後児童クラブの充実を	沖田議員
P6 外国語活動と道徳教育の充実を	沖田議員
P7 シニアカー普及への取り組み	立花議員
P8 出来庭地区の県道等の整備状況は	民法議員
P9 3回目の質問になるが、次の百周年に向けた筆産業振興策の検討を	民法議員
P10 上水道事業の今後の方向は	大瀬戸議員
P11 樹木越境トラブルの解消を	立花議員
P12 水道事業の現状とこれからは	竹爪議員
P13 自転車の安全対策	民法議員
P14 有害鳥獣対策の強化を	時光議員
P15 今後の町の農業は	諏訪本議員
P16 農業祭での町長の新しい取り組みは	尺田議員
P17 町税の滞納対策は	尺田議員
P18 熊野町における国際交流事業は	尺田議員

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
 また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
 なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

子育て支援教育

Q 放課後児童クラブの充実を



沖田ゆかり 議員

A 〈町長〉
来年度から順次、対象学年を拡大していく。

〔Q1〕 平成28年6月議会において、現在4年生までの対象児童を6年生までに拡大して頂くよう要望したが、その後どのように検討されたのか。保護者へのニーズ調査の結果について、新たな教室の確保について、支援員の確保について伺う。

〔A1〕 ニーズ調査の結果については、児童クラブに入会している1年生から4年生までの児童の保護者にアンケート調査を実施した結果、全体で75%の方が「5年生以降も利用を希望する」との回答であった。

新たな教室の確保については、夏休み等の長期休暇中に定員を超える見込みであるが、現時点では確保が可能であると判断し、対象学年を5年生までに拡



大することとした。今後の状況をしながら6年生までに拡大したい。支援員の確保については、次年度においては現行どおり長期休暇中のみ増員し対応する。今後の対象学年の拡大に向け継続して募集を行い、確保に努めたい。

〔Q2〕 図書類や室内用のゲームなどの充実を図ることについて

〔A2〕 現場の意見を踏まえ、主に図書（絵本、漫画、図鑑等）の充実を図っている。

Q 〈沖田 ゆかり 議員〉
外国語活動と道徳教育の充実を

A 〈教育長〉
「主体的・対話的で深い学び」の実現を目標に、子ども達を育む。

〔Q1〕 次期学習指導要領では小学校の中学年は外国語活動を、高学年では外国語科を導入すること。熊野町においては具体的に何をされるのか。

〔A1〕 熊野町では既に低学年で6時間、中学年で10時間、高学年では35時間、外国語活動を行っている。平成30年度以降は文科省の示す中学年15時間、高学年50時間に上乗せして先行実施する。

〔Q3〕 道徳が特別の教科と位置付けられた背景には、いじめの深刻化や低年齢化があり、いじめの問題への対応の充実があるが、教員の力量により児童・生徒への道徳性の育み方が大きく変わるのではないか。

〔A3〕 いじめは絶対許されないというスタンスを崩さないで、教員がそれぞれの力量によって強く指導していく。



〔Q2〕 授業実数の増加に伴い教員への負担が多くなることから、ALT（外国語指導助手）は現在の小学校1名、中学校1名では対応できないのではないか。

〔A2〕 財政当局と協議をし